日立労基協だより

－第25号－

発 行 所
日立市幸町１丁目 21 番２号
日立商工会議所会館１階
社団法人 日立労働基準協会
電話（0294）23 － 3431
E － mail:roukikyo@jsdi.or.jp
編集兼発行人　大内　傳之助

平成二十四年度 全国安全週間説明会を開催

六月八日(金)、日立シビックセンターにおいて、各企業の安全衛生管理責任者及び担当者二百七十二名が参加され、平成二十四年度全国安全週間説明会が、日立労働基準監督署のご後援により、盛大に開催されました。

説明会は、坪和副会長の開会のことばから始まり、遠山副会長より主催者挨拶、宮崎署長より来賓挨拶をいただきました。

続いて「全国安全週間実施要綱」等について、日立労働基準監督署の矢島第三方面主任監督官より説明をいただき、また、「労働者派遣法改正法の施行」等について、茨城労働局職業安定部需給調整事業室の栗原室長より説明をいただきました。

特別講演は、常磐大学人間科学部心理学科准教授の申紅仙氏より、「事故事例から学ぶ教訓と予防対策」と題した講演をいただきました。申氏はヒューマンエラーと不安全行動について、ヒューマンエラーとは、本人の意図に反して行われたうっかりミスであるが、不安全行動とは、めんどくさい気持ちなどから、本人の意図的に行われたものであること。不安全行動を繰り返せば客観的危険は増すが、本人の今まで大丈夫だったから今回も大丈夫だろうという気持ちとのギャップが増大すること。また、ヒューマンエラーと不安全行動が重なると事故が巨大化すると述べられました。災害発生のメカニズムについてわかりやすく説明され、参加者は最後まで熱心に聴講されておりました。

最後に大島運営委員長の閉会のことばがあり、盛会のうちに終了しました。

平成二十四年度 全国安全週間スローガン 『ルールを守る安全職場 みんなで目指すゼロ災害』

主催者挨拶　遠山副会長

特別講演　申　紅仙 氏

就任のご挨拶

日立労働基準監督署
署長　宮﨑　敏彦

四月一日付けで日立労働基準監督署に赴任しました。よろしくお願い申し上げます。

また、稲垣会長様を始め会員の皆様には、日頃より労働基準監督署の業務運営にご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

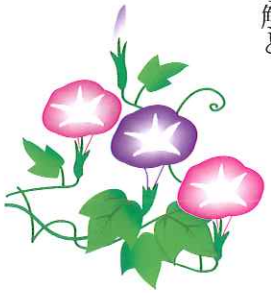
赴任して二ヶ月、日立労基署の庁舎から見えるけやき通りのケヤキも青々と色づき、日立市のシンボルとして今年も夏は涼しさを与え、秋には目を楽しましてくれるものと思います。

さて、県内の景気は持ち直しつつあるものの、働く人を取り巻く労働環境は依然として厳しい状況にあり、労基署に寄せられる解雇や賃金、労働時間などの労働相談は高止まり傾向にあります。また、労働災害においては震災の復旧工事等もあって、日立労基署管内では昨年、死亡者数は三人、休業四日以上の死傷者数は一昨年より全体では一一％ほど増加となっています。

茨城県内を見れば、特に建設業や陸上貨物運送事業、小売業、社会福祉施設の死傷者数が著しく増加しており、茨城労働局・各労基署ではこの四つを重点業種として労働災害防止に向けて取り組まなければならない課題としています。

各事業場においても、労働災害を無くし、健康で安心して働くことのできる職場づくりは、労使ともなお一層取り組まなければならないものと思います。

今年度も労働者が安心して働くことのできる環境整備に取り組んでいきたいと思いますので、会員の皆様にはこれからもご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げて挨拶とさせて頂きます。



平成24年度　定期総会を開催

来賓祝辞　高橋労働基準部長

平成24年度(社)日立労働基準協会の定期総会が、5月18日(金)ホテルテラスザスクエア日立において開催されました。

当日は茨城労働局労働基準部の高橋部長殿、日立労働基準監督署の宮﨑署長殿及び日立市産業経済部の石田部長殿を来賓としてお迎えして、平成23年度事業報告・収支決算報告、平成24年度事業計画案・予算案、役員の一部改選案並びに一般社団法人への移行に伴う定款変更案が審議され、原案通り承認決定されました。

出席者は理事・監事24名、会員39名、委任状339名で合計402名でした。

総会終了後、ご来賓の高橋部長殿並びに石田部長殿よりご祝辞をいただきました。

改　選　役　員　紹　介

役　職	氏　名	事　業　所　名
副会長	遠山　純一	日立電線㈱ 日高工場
常任理事	冨貴澤　保夫	㈱日立製作所 日立事業所
常任理事	吉田　哲哉	日立アプライアンス㈱ 多賀事業所
常任理事	林　泰造	日立電線㈱ 電線工場
理　事	井川　真吾	日立電線㈱ 高砂工場
理　事	大山　敬次	㈱常陽銀行 日立支店
理　事	後藤　秀夫	日本ケミコン㈱ 高萩工場

平成二十四年度 優良従業員表彰式を挙行

五月十八日(金)ホテルテラスザスクエア日立において、(社)日立労働基準協会長による平成二十四年度優良従業員表彰式が挙行されました。

会員事業場より推薦をいただいた七十二名の優良従業員に対し、稲垣会長より表彰状と記念品が手交され、ご来賓の宮崎日立労働基準監督署長よりご祝辞をいただきました。

最後に受賞者を代表して、日立アプライアンス(株)の田代洋一氏から謝辞が述べられ、表彰式は滞りなく終了いたしました。

式後受賞を記念して集合写真の撮影があり、写真は後日受賞者に送付されました。

今年度受賞された方々は下記のとおりです。

表彰状授与

受賞者紹介

(受付順)

氏名	事業場	氏名	事業場
田代洋一	日立アプライアンス㈱	佐藤光之	㈱ワンダーキープ高萩 高萩工場
鈴木功	日立アプライアンス㈱	沼田徳正	日立電線ファインテック㈱
川崎兼央	㈱ミナカワ	吉田勝明	ユニマテック㈱
宇野陽一	高萩陸運(有)	山形敏行	ユニマテック㈱
川上弘美	一般財団法人関東電気保安協会日立事業所	山本實	ＪＸ日鉱日石金属㈱磯原工場
圷祐治	茨城電機工業㈱	熊谷弘輝	㈱茨城サービスエンジニアリング
増子俊明	泉商事㈱	菊池豊	日立国分機器エンジニアリング㈱
吉澤寿和	㈱菊池精機	齊藤正照	㈱日立産機システム
石川和美	マックスファスニングシステムズ㈱	赤須道子	㈱日立ライフ
井川光良	㈱ダイム共栄	寺川義光	㈱日立ライフ
鈴木美奈子	ＮＯＫクリューバー㈱	鈴木裕一	常陽電機工業㈱
安田清	ＮＯＫクリューバー㈱	赤津俊彦	生化学工業㈱高萩工場
五十嵐豊	日立電設工事㈱	荒川正利	㈱八幡鉄工所
長嶋克弘	㈱ユーメック	小泉浩子	㈱武蔵野化学研究所磯原工場
関根優一	㈱徳伸工業	鈴木力男	日立電線㈱日高工場
伊藤聡	ＪＸ日鉱日石金属㈱日立事業所	川合寿治	日立電線㈱電線工場
本田芳弘	ＪＸ金属環境㈱	鈴木俊弘	日立電線㈱日高工場豊浦分工場
鈴木浩之	東部大建工業㈱	黒沢重明	ＳＭＫ㈱ひたち事業所
滝貢	日興建設㈱	渡辺正史	日立キャピタルオートリース㈱車両整備センター
川野健治	鈴縫工業㈱	宇佐美伸一	㈱日立茨城テクニカルサービス
大畠正稔	㈱秋山工務店	和田広幸	㈱日立茨城テクニカルサービス
田所弘	㈱秋山工務店	和田政美	神峯クリーンサービス㈱
星俊治	㈱新和製作所	本多忠男	高萩ニチハ㈱
大内健二	多賀土木㈱	庄司シツイ	日和サービス㈱
松本幸一	日本ケミコン㈱高萩工場	山野辺澄子	日和サービス㈱
鈴木則幸	日立電線メクテック㈱	栖原友美	ＢＡＳＦジャパン㈱磯原工場
岡野孝治	協業組合日立環境開発センター	高橋智治	㈱アイメタルテクノロジー
宮崎信之	日本放射線エンジニアリング㈱	飯樋和夫	日立市企業局
常山孝一	日立原町電子工業㈱	五十嵐清	大陽日酸東関東㈱
山形政春	㈱ジーエス茨城製作所	宮澤昭一	日立化成工業㈱山崎事業所
長谷川義雄	㈱日昌製作所	大内洋一	㈱日立製作所日立事業所国分統括本部
石山秀晴	㈱日立製作所日立事業所	清水頭孝悦	㈱日立製作所日立事業所国分統括本部
本柳定夫	㈱日立製作所日立事業所	渡辺浩	日立セメント㈱
鈴木善千	㈱日立製作所日立事業所	鈴木邦彦	㈱日立製作所インフラシステム社
荻津信一	㈱岡部工務店	佐藤勝二	㈱日立製作所インフラシステム社
杉平哲男	森六プレシジョン㈱	小林一秀	㈱日立製作所インフラシステム社

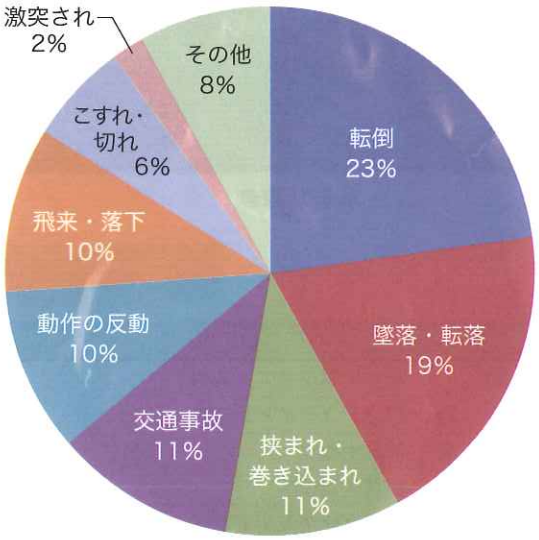
日立労働基準監督署からのお知らせ

平成24年5月末現在における管内の労働災害発生状況（速報）

業種		平成24年	前年同期	増減
製造業	食料品	4	2	2
	木材・木製品			
	化学工業	3	2	1
	窯業土石製品	2	1	1
	鉄鋼業	1		1
	金属製品	5	2	3
	一般機械器具	1		1
	電気機械器具		5	−5
	輸送用機械器具	1	1	
	その他	2		2
	小計	19	13	6
建設業	土木工事	1	4	−3
	建築(木造除く)	2	1	1
	木造建築工事		2	−2
	その他	1	4	−3
	小計	5	11	−6
運輸交通業		5	① 8	−3
貨物取扱業		1	1	
林業		1	2	−1
商業		7	8	−1
通信業		4	4	
保健衛生業		5	6	−1
接客娯楽業		4	1	3
その他		1	7	−6
合計		52	① 61	−9

1月から5月末までの平成24年災害発生件数（休業4日以上）
（5月31日現在）〇は死亡で内数

事故の型別災害発生の割合



平成24年発生　災害事例

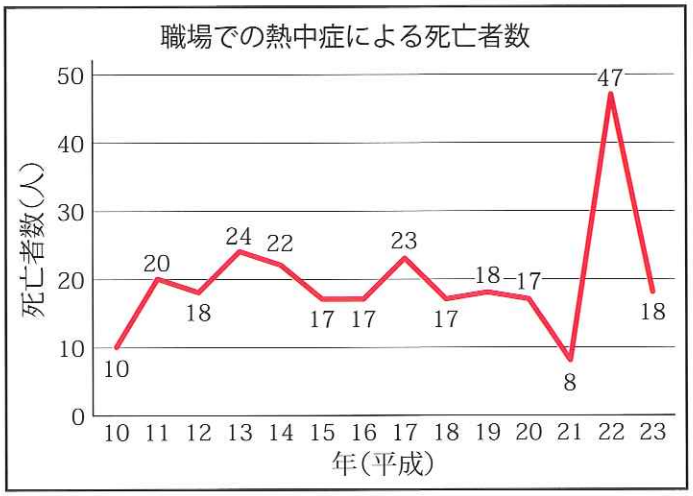
事業の種類	職種 年齢	事故の型 起因物	災害の概要
食料品製造業	作業員 40歳代	はさまれ、巻き込まれ 一般動力機械	包装機械に残っていた容器を、機械が稼働中にもかかわらず取り出そうとしたため、機械に挟まれた。
建築工事業	塗装工 20歳代	墜落、転落 屋根、はり、もや、けた、合掌	屋根上で高圧洗浄作業中、水に濡れて滑りやすくなった屋根で足を滑らせ、屋根から落下した。
一般貨物自動車運送業	運転手 40歳代	墜落、転落 トラック	トラックの荷台に乗り、荷物の載ったパレットを手カギに引っ掛け引っ張っている時、手カギに引っ掛けたパレットの一部が破損、その勢いで荷台下に転落した。

暑い日は作業計画の見直しを！

昨年の全国の職場での熱中症による死亡者は18人と、記録的な猛暑となった平成22年の47人からは激減しましたが、依然として多くの方が亡くなっていることから、熱中症予防対策の的確な実施が必要となっています。

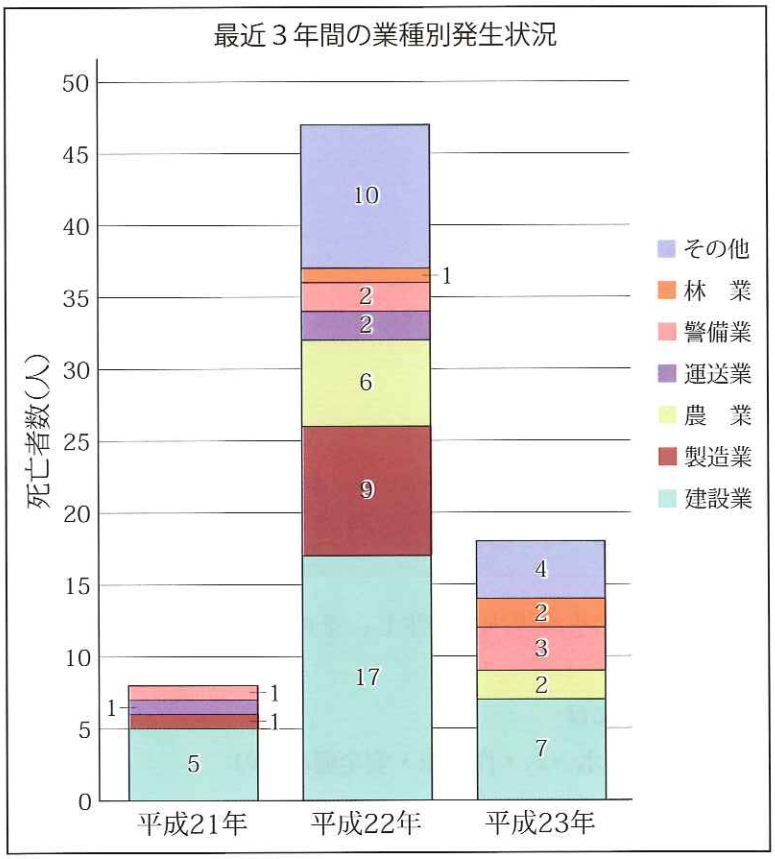
業種別にみると、建設業、製造業、農業、その他の業種では大きく減少しましたが、警備業、林業で増加しています。また、昨年は、例年と比較すると６月に多く発生し、44％が作業開始から４日以内に発生しています。

今年の夏は、例年並みかそれ以上の暑さが予想されていることと、電力需給のひっ迫が見込まれるため、



- WBGT値(暑さ指数)を測定することなどによって、職場の暑熱の状況を把握し、作業環境や作業、健康の管理を行う。必要に応じて作業計画の見直しを行う。
- 熱への順化期間(熱に慣れ、その環境に適応する期間)を計画的に設定する。
- 自覚症状の有無にかかわらず、水分・塩分を摂取する。
- 熱中症の発症に影響を与えるおそれのある、糖尿病などの疾患がある労働者への健康管理を行う。

などの対策をとり、熱中症を予防しましょう。



もしものときの備えも重要です。

※詳しいデータなどは、厚生労働省ＨＰ内の「暑い日は作業計画の見直しを！」
http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/h24_nettyuuchou.html に掲載されています。

荷主企業の皆さまへ

トラック輸送の安全とコンプライアンスの確保のために

トラック等の自動車運転者の長時間労働は、重大事故が発生する都度、社会的問題として繰り返し取上げられ、改善が求められています。

「自動車運転者の労働時間等の改善のための基準（改善基準）」が定められていて、運送事業者において適正な労働時間管理を行うことが基本ですが、一方で、構造的に、荷主企業など発注者の協力が不可欠であると言われています。

荷主企業の皆さまには、発注にあたって、改善基準を考慮いただき、

★無理のない計画的な発注
★積卸の待ち時間の解消（短縮）
★運送事業者との十分な打合せ

等により、輸送の安全とコンプライアンスの確保にご協力をお願いします。

トラック運転者に関する改善基準（抜粋）

①拘束時間（始業から終業までの休憩を含む総時間）

１日最大で16時間（ただし、基本は１日13時間、15時間を超えるのは週に２回まで）が限度です。

②ハンドル時間（運転時間）

１日９時間（前日または翌日との平均値）が限度です。

③休息（終業から翌勤務の始業までの期間）

継続して8時間以上の休息が必要です。

自社構内での荷役作業の安全確保のために

トラック運転者の労働災害の多くが、積卸先の事業場内で発生し、そのうち約3割が墜落・転落災害です。

荷主企業など、トラックを受入れる企業の皆さまには、

★安全通路の確保、昇降設備・プラットホーム・作業床・安全柵などの安全設備の設置
★自社作業者との共同作業に関する連絡調整
★運送事業者との十分な打合せ

等により、荷役作業におけるトラック運転者の事故防止にご協力をお願いします。

荷主の自社構内に墜落防止設備を設置した事例

設備例1 昇降設備

荷台からの飛び降り防止として、移動式の昇降設備を屋内の積降場に常設している。

設備例2 移動式プラットホーム

キャスター付きのリフターを利用した移動式のプラットホームである。移動にはキャスターを利用する。プラットホームの高さはリフターで調整できるため、4トン車や10トン車の平ボディーでも利用可能である。ただしプラットホームの保管場所が必要である。

上記の詳細は厚生労働省ホームページ内の以下の記事もご覧ください。
http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/kantoku/dl/101222-1a.pdf
http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/110725-1_1.pdf

お早めの年度更新手続にご協力を

～平成24年度労働保険年度更新～

平成23年度は茨城県内の事業場は東日本大震災の被災地であることから、労働保険年度更新の申告・納付期限が延長されておりましたが、平成24年度は従来どおり、７月10日(火)までに申告・納付を行うこととなりましたので、ご協力をお願いします。

保険料の算定にあたっては、平成24年度概算保険料より労災保険料率、雇用保険料率の改正があることからご注意下さい。

なお、年度更新手続に不慣れな方、ご不明な点がある方は、下記の「受理相談会」において申告書の作成をお手伝いいたしますので、ぜひお気軽にご利用下さい。

○会場では、職員及び各地区の社会保険労務士等が相談に応じさせていただきます。

○相談会においでの際は、申告書・事業主印のほか、次の資料を持参してください。

・継続事業(建設事業、林業以外の方)
平成23年４月１日から平成24年３月31日までの期間の賃金台帳、月別賃金集計表など平成23年度中に支払った賃金額のわかる資料

・一括有期事業(建設事業、林業の方)
平成23年４月１日から平成24年３月31日までの期間に終了した工事・事業に係る工事台帳、工事請負契約書等

平成24年度労働保険年度更新申告書　受理相談会日程

月　　日	時　　間	会　　場
７月６日(金)、９日(月)、10日(火)	９：00～16：00	日立労働基準監督署　会議室(日立市幸町2-9-4)
７月10日(火)	９：30～15：30	ハローワーク高萩　会議室(高萩市本町4-8-5)

○その他

・平成23年度より年度更新関係業務の一部が外部委託されております。

・平成23年度より、「年度更新説明会」の開催はいたしておりません。

お問合せは、日立労働基準監督署(0294-22-5187)、茨城労働局労働保険徴収室(029-224-6213)へ

日立労働基準監督署 人事異動 新任職員紹介

新官職	氏名	旧官職
署長	宮崎敏彦	龍ヶ崎労働基準監督署 署長
業務課長	石川和司	茨城労働局労災補償課 費用徴収専門官
第一方面主任監督官	山口俊宏	茨城労働局監督課 専門監督官
第三方面主任監督官	矢島進介	古河労働基準監督署 監督課長
第三方面安全専門官	木口竜馬	土浦労働基準監督署 第三方面安全専門官
労災課長	生天目和春	茨城労働局労働保険徴収室 労働保険適用指導官
労災課補償係長	大内奈穂	茨城労働局総務課 会計第一係主任
労災課労災係	金澤伸枝	水戸労働基準監督署 第一方面監督係

ハローワークからのお知らせ

●●●●●●● 事業主の皆様へ ●●●●●●●

平成25年3月新卒者対象の求人受理が始まりました！
これからを担う若者の採用をお願いします！

平成25年３月新規高等学校卒業予定者のうち就職希望者は、男子256名・女子161名の併せて417名が新たな世界へ踏み出そうとしています。

ハローワーク日立では、『就職』という大きな転機を迎える学生のサポートを行うため、「学生就業相談コーナー」を設置し、ジョブサポーター４名を配置し、関係機関と連携するほか、さらに、学校とハローワークが連携し、新規学校卒業者の就職が実現するよう全力を挙げて求人の確保に取り組んでおります。

つきましては貴社におかれましても、厳しい経済情勢にあるなかで、すでにご尽力いただいていることとは存じますが、新規学校卒業者の採用につきまして、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本年度より「高卒求人申込書」が新様式となっておりますので、ご不明な点がございましたら、下記担当までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

平成24年4月末現在

高校		21年3月卒	22年3月卒	対前年比	23年3月卒	対前年比	24年3月卒	対前年比
求人数	管内	847	504	▲ 40.5	514	2.0	524	1.9
	県外	250	148	▲ 40.8	206	39.2	128	▲ 37.9
	合計	1,097	652	▲ 40.6	720	10.4	652	▲ 9.4
求職数	男	202	167	▲ 17.3	189	13.2	165	▲ 12.7
	女	99	95	▲ 4.0	135	42.1	101	▲ 25.2
	計	301	262	▲ 13.0	324	23.7	266	▲ 17.9
就職数	男	202	165	▲ 18.3	188	13.9	163	▲ 13.3
	女	99	94	▲ 5.1	129	37.2	100	▲ 22.5
	計	301	259	▲ 14.0	317	22.4	263	▲ 17.0
求人倍率	管内	2.81	1.92	▲ 0.89	1.59	▲ 0.34	1.97	0.38
	合計	3.64	2.49	▲ 1.16	2.22	▲ 0.27	2.45	0.23
内定率		100.0%	98.9%	▲ 1.1ポイント	97.8%	▲ 1.1ポイント	98.9%	1.1ポイント

平成25年 3月卒
中卒・大卒等求人も
よろしくお願いします

◆ お問い合わせ先 ◆

ハローワーク日立
学生職業相談コーナー
TEL 0294-21-6441 42#
FAX 0294-23-3420

平成24年度 事業計画（９月以降の協会行事等）

月	行　　事	場　　所
９月	日立地区安全衛生大会　（７日）	日立シビックセンター
11月	労務管理に関する講習会(監督署共催)	後　報
１月	第２回役員会　（25日）	ホテル天地閣
１月	日立労基協だより第26号発行	
月	その他の行事	場　　所
９月	免許(学科)出張試験　（２日）	水戸　茨城大学
10月	全国労働衛生週間　（１日～７日）	
10月	茨城県産業安全衛生大会　（３日）	ホテルレイクビュー水戸
10月	全国産業安全衛生大会　（24日～26日）	富山県富山市
12月	年末年始無災害運動　（12/15日～1/15日）	

今後の講習・教育等開催案内（７月以降）

	種　　別	開　　催　　日
技能講習	玉掛け	8/2～4　10/11～13　12/6～8　2/7～9
	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者	9/11～12　12/11～12
	有機溶剤作業主任者	8/29～30　11/21～22　2/13～14
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	10/30～11/2　2/26～3/1
	ガス溶接	9/28～29　2/22～23
	フォークリフト運転（学科）	7/20　9/13　11/13　1/17
	プレス作業主任者	7/25～27
特別教育	アーク溶接	11/9～10
	クレーン運転	10/19～20
	研削といし（自由研削）	1/19
	研削といし（機械研削）	3/8～9
	プレス・シャー	11/30～12/1
	電気（低圧）取扱業務	9/21～22
	粉じん作業	12/5
講習会	安全衛生推進者等養成講座	8/7～8
	職長教育	7/18～19　9/26～27　11/7～8　1/30～31　3/6～7
	リスクアセスメント担当者(製造業等)研修会	7／24

※１．学科の会場は原則として日立商工会議所会館です。
　２．開催日は講師及び会場の都合等により変更になることもありますので、各種別毎の開催案内にてご確認下さい。

編　集　後　記

定期総会も無事終了し、また、全国安全週間説明会も多数の参加を得て盛大に開催することができました。地震等の影響で減少した受講者数も回復基調にあり、平成24年度の協会事業も順調に推進できております。会員の皆様には、日頃から協会の事業運営にご支援ご協力をいただいておりますこと、改めてお礼申し上げます。　（大内 記）

平成24年度日立地区安全衛生大会のご案内

下記により開催することと致しますので、各事業所の安全衛生管理責任者・担当者等のご出席をお願い致します。

記

１．日　時　　９月７日(金) １３：３０～１６：４０
２．場　所　　日立シビックセンター
３．内　容　　（１）全国労働衛生週間実施要綱の説明
　　（２）事例発表
　　（３）特別講演